

和歌山病院での実習を終えて



溝端 和哉

私は7月10日、11日の二日ポリクリの一環として間和歌山病院で実習させていただきました。普段は大学病院で実習することが多いので貴重な機会を与えていただきありがとうございます。

和歌山病院の院内見学で一番印象に残ったのは結核病棟でした。私のイメージでは結核病棟は完全に別病棟になっており、どちらかという閉鎖的で暗いイメージを持ってしまっていたのですが、和歌山病院での結核病棟は新しい設備で入口は二重になって仕切られていましたがそれほど閉塞感などは感じませんでした。結核病棟内の病室もとても清潔感があり患者さんが不便を感じないように非常に配慮されているように感じました。感染対策もしっかりされており、N95マスクの付け方や病棟内の空気循環の仕組みなど視覚的に大変理解しやすく教えていただきました。

また先生方のセミナーでは特に画像診断について熱心に教えていただきました。私は胸部レントゲンに苦手意識がありましたが、どうして白黒の像ができているのかなぜこの線はあるのかと、ただ答えを教えていただくのではなく影絵などの身近な例を用いて考えさせていただいたおかげで正常のレントゲンとはどういうものか理解できたように思います。

2日間のたいへん短い期間ではありましたが、とても充実した実習となりました。和歌山病院の先生方、スタッフの皆様には貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。